

# 野村未来トレンド発見ファンド

Cコース（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型

Dコース（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型

愛称：先見の明

## 運用報告書(全体版)

第1期（決算日2020年3月16日） 第2期（決算日2020年4月14日） 第3期（決算日2020年5月14日）

作成対象期間（2020年1月31日～2020年5月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Cコース	Dコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年1月31日から2025年11月14日までです。	
運用方針	グローバル・マルチテーマ マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行わない場合があります。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村未来トレンド発見ファンド Cコース（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型 Dコース（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型 マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村未来トレンド発見ファンド Cコース（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型 Dコース（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型 マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。なお、決算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払済みの分配金累計額は加算しません。）が11,000円以上の場合は、上記の範囲内で、別に定める金額の分配を行うことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Cコース&gt;

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2020年1月31日	10,000	—	—	100.00	—	—	—	10
1期(2020年3月16日)	8,472	0	△15.3	79.76	△20.2	89.9	—	149
2期(2020年4月14日)	8,800	0	3.9	82.50	3.4	87.9	—	145
3期(2020年5月14日)	9,492	0	7.9	84.37	2.3	90.9	—	162

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数（＝「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）」は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、ヘッジコストを考慮して円換算したものです。設定時を100として指数化しております。

\*MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第1期	(設定日)	円	%		%	%	%
	2020年1月31日	10,000	—	100.00	—	—	—
	2月末	9,329	△6.7	92.28	△7.7	93.6	—
第2期	(期末)						
	2020年3月16日	8,472	△15.3	79.76	△20.2	89.9	—
	(期首)						
第2期	2020年3月16日	8,472	—	79.76	—	89.9	—
	3月末	8,566	1.1	78.76	△1.3	91.1	—
	(期末)						
第3期	2020年4月14日	8,800	3.9	82.50	3.4	87.9	—
	(期首)						
	2020年4月14日	8,800	—	82.50	—	87.9	—
第3期	4月末	9,452	7.4	87.11	5.6	90.3	—
	(期末)						
	2020年5月14日	9,492	7.9	84.37	2.3	90.9	—

\*騰落率は期首比です。ただし、第1期の騰落率は設定日比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## &lt;Dコース&gt;

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配	み 金 騰 落 率	期 騰 落 率	中 率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2020年1月31日	10,000	—	—	100.00	—	—	—	1
1期(2020年3月16日)	8,088	0	△19.1	78.39	△21.6	89.6	—	443
2期(2020年4月14日)	8,494	0	5.0	81.76	4.3	87.9	—	470
3期(2020年5月14日)	9,116	0	7.3	83.14	1.7	90.9	—	514

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数（＝「MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）」）は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスを営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

\*MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率				
第1期	(設定日)	円	%		%	%	%
	2020年1月31日	10,000	—	100.00	—	—	—
	2月末	9,188	△8.1	92.74	△7.3	94.0	—
第2期	(期末)	8,088	△19.1	78.39	△21.6	89.6	—
	2020年3月16日	8,088	—	78.39	—	89.6	—
	3月末	8,343	3.2	78.86	0.6	91.1	—
第3期	(期末)	8,494	5.0	81.76	4.3	87.9	—
	2020年4月14日	8,494	—	81.76	—	87.9	—
	4月末	9,078	6.9	85.81	5.0	90.3	—
	(期末)	9,116	7.3	83.14	1.7	90.9	—
	2020年5月14日						

\*騰落率は期首比です。ただし、第1期の騰落率は設定日比です。

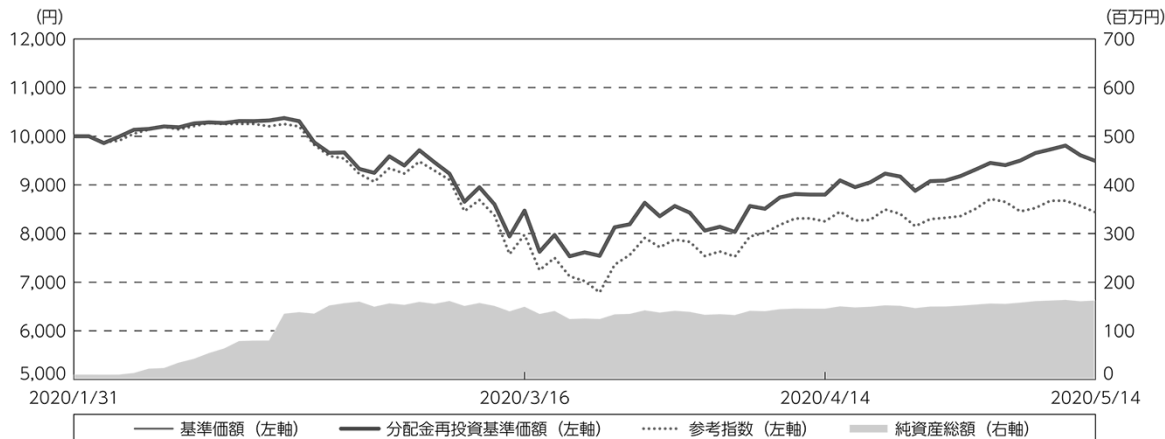
\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## <Cコース>

### ◎運用経過

#### ○作成期間中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

第3期末：9,492円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 5.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）です。参考指数は、設定時を10,000として計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 1月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）が市場予想を上回ったこと、中国人民銀行（中央銀行）により金融市場へ資金供給が行なわれたこと
- (下落) 新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的な経済活動の停滞による景気後退への懸念が高まったこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けて原油価格が急落したこと
- (上昇) 米国で大型経済対策の成立やFRB（米連邦準備制度理事会）による量的緩和策が決定したこと、新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが鈍化しつつあるとの見方や、欧米の一部地域での経済活動再開の動きが好感されたこと

## <Cコース>

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当作成期は、参考指数としているMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）の騰落率が15.6%の下落となったのに対して、基準価額は5.1%の下落となりました。

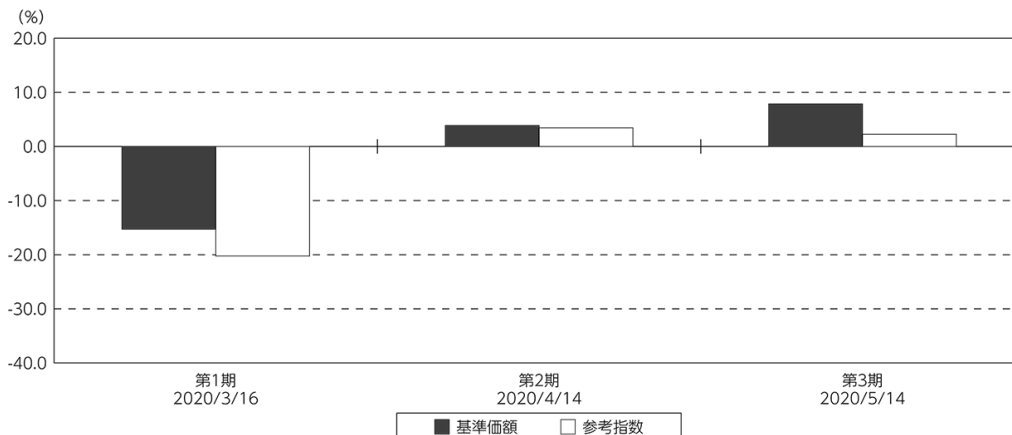
#### （主なプラス要因）

- ①ITセクター内での銘柄選択効果がプラスに寄与したこと、株価騰落率が参考指数を上回ったITセクターをオーバーウェイトとしていたこと
- ②リモートワークの普及などを背景に長期的な成長を期待できると判断しオーバーウェイトとしていた米国のソフトウェア株や、世界的なEC（電子商取引）市場の拡大やクラウドコンピューティングへの需要の高まりなどを背景に、長期的な成長を期待できると判断しオーバーウェイトとしていた米国のインターネット販売・通信販売株などの株価騰落率が参考指数を上回ったこと

#### （主なマイナス要因）

- ①資本財・サービスセクター内での銘柄選択効果がマイナスに影響したこと
- ②世界的な航空旅客数の増大を背景に中長期的な成長が期待できると判断しオーバーウェイトとしていたフランスやカナダの航空宇宙・防衛株などの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円ベース・為替ヘッジあり）です。

## <Cコース>

### ◎分配金

- (1) 収益分配金については、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期	第2期	第3期
	2020年1月31日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
当期分配金	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6	15	21

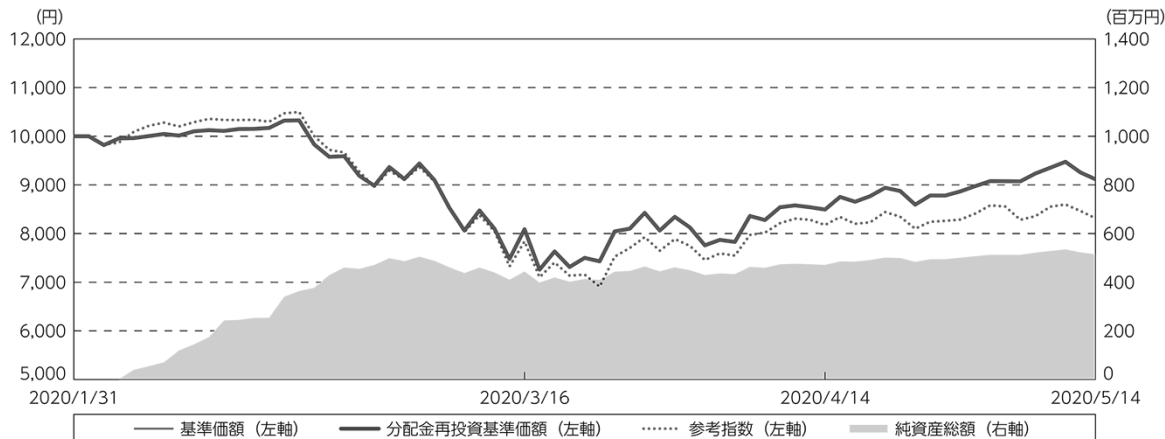
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Dコース>

### ◎運用経過

#### ○作成期間中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

第3期末：9,116円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 8.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。参考指数は、設定時を10,000として計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 1月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）が市場予想を上回ったこと、中国人民銀行（中央銀行）により金融市場へ資金供給が行なわれたこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下落) 新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的な経済活動の停滞による景気後退への懸念が高まったこと、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けて原油価格が急落したこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと
- (上昇) 米国で大型経済対策の成立やFRB（米連邦準備制度理事会）による量的緩和策が決定したこと、新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが鈍化しつつあるとの見方や、欧米の一部地域での経済活動再開の動きが好感されたこと

## <Dコース>

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当作成期は、参考指数としているMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）の騰落率が16.9%の下落となったのに対して、基準価額は8.8%の下落となりました。

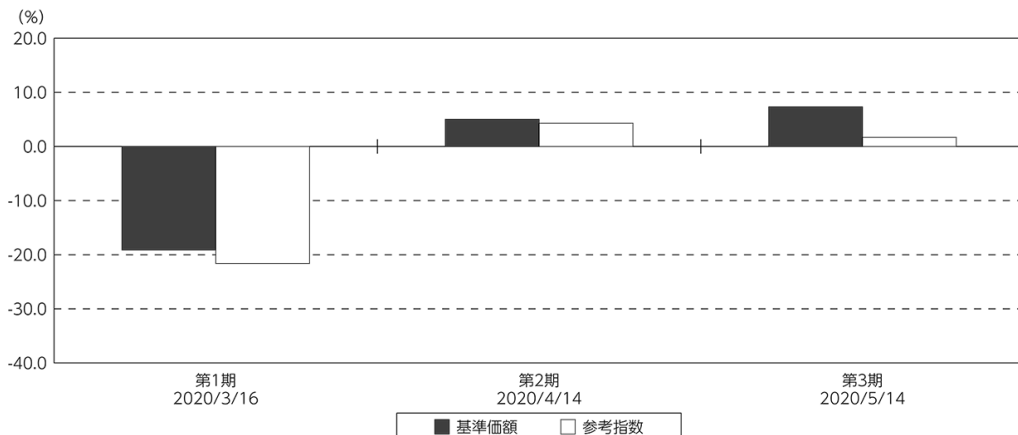
#### （主なプラス要因）

- ①ITセクター内での銘柄選択効果がプラスに寄与したこと、株価騰落率が参考指数を上回ったITセクターをオーバーウェイトとしていたこと
- ②リモートワークの普及などを背景に長期的な成長を期待できると判断しオーバーウェイトとしていた米国のソフトウェア株や、世界的なEC（電子商取引）市場の拡大やクラウドコンピューティングへの需要の高まりなどを背景に、長期的な成長を期待できると判断しオーバーウェイトとしていた米国のインターネット販売・通信販売株などの株価騰落率が参考指数を上回ったこと

#### （主なマイナス要因）

- ①資本財・サービスセクター内での銘柄選択効果がマイナスに影響したこと
- ②世界的な航空旅客数の増大を背景に中長期的な成長が期待できると判断しオーバーウェイトとしていたフランスやカナダの航空宇宙・防衛株などの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。



## <Dコース>

### ◎分配金

- (1) 収益分配金については、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期	第2期	第3期
	2020年1月31日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
当期分配金	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	6	15	21

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Cコース/Dコース>

### ○投資環境

世界の株式市場は、当作成期初、市場予想を上回る1月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏総合PMI、中国人民銀行による金融市場への資金供給などを背景に上昇して始まりました。しかし、2月下旬には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による世界経済への悪影響に対する懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、大幅に下落しました。その後も、OPECとロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けた原油価格の急落などを背景に下落基調が継続しました。3月下旬には、米国での大型経済対策の成立やFRBによる量的緩和策の決定などを受けて上昇に転じました。4月から当作成期末にかけては、3月の米雇用統計が市場予想を上回る悪化を示したことなどが嫌気された一方、FRBの緊急資金供給策の発表や欧米諸国で経済活動の段階的な再開の動きが広がったことなどが好感され、上昇基調が継続したものの、当作成期において世界の株式市場は下落しました。

一方、為替市場では、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に対する警戒感などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、円高が進行しました。その後、金融市場の動揺を背景にドル需要が強まったことなどから円安に転じる場面もありましたが、当作成期を通じては米ドル安・円高となりました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

[グローバル・マルチテーマ マザーファンド]

#### ・株式組入比率

当作成期を通じておおむね高位を維持しました。

#### ・当作成期中の主な動き

- (1) 業種別配分につきましては、ITセクターなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）としました。一方、金融セクターなどをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。
- (2) テーマ別配分につきましては、「AI（人工知能）/クラウドサービス」や「アウトソーシング」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を当作成期中平均で高めにしました。
- (3) 為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）はしておりません。

### [野村未来トレンド発見ファンド Cコース（為替ヘッジあり）予想分配金提示型]

・主要投資対象である [グローバル・マルチテーマ マザーファンド] 受益証券を当作成期を通じておおむね高位に組み入れました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図りました。

## <Cコース/Dコース>

### [野村未来トレンド発見ファンド Dコース（為替ヘッジなし）予想分配金提示型]

- ・主要投資対象である[グローバル・マルチテーマ マザーファンド] 受益証券を当作成期を通じておおむね高位に組み入れました。
- ・為替ヘッジ  
当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

## ◎今後の運用方針

### [グローバル・マルチテーマ マザーファンド]

#### ・投資環境

米国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために経済活動が制限される中、1-3月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率-4.8%と落ち込みました。感染者数の増加ペースが鈍化し、複数の州で経済活動再開の動きが出ていますが、このまま事態が収束するかどうか注視する必要があります。こうした中、FRBはゼロ金利や無制限の量的緩和、企業の資金繰り支援などを堅持する方針です。またトランプ米政権が減税やインフラ投資など追加経済対策を検討していることも注目されます。

#### ・運用方針

グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマを複数選定し、関連する銘柄群を中心に成長性に着目した銘柄選択を行ないます。成長テーマの選定は、「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から選定することを基本とします。成長テーマは必要に応じて入れ替えを行ないます。また、市場環境やマクロ経済動向も加味し、組入銘柄および組入比率、その結果としての各成長テーマ毎の投資比率を決定します。

AI、ロボット、IoT（モノのインターネット）、自動運転、クラウドなど高い成長が期待されるテーマや、アウトソーシング、消費、教育など安定的な成長が期待される成長テーマにも注目してまいります。今後も政治情勢や金利動向なども考慮しつつ、「中長期成長期待への積極的投資」と「短期的な株式市場環境への対応」をバランスよく運用してまいります。

### [野村未来トレンド発見ファンド Cコース（為替ヘッジあり）予想分配金提示型]

主要投資対象である[グローバル・マルチテーマ マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ（先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。）により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

### [野村未来トレンド発見ファンド Dコース（為替ヘッジなし）予想分配金提示型]

主要投資対象である[グローバル・マルチテーマ マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Cコース&gt;

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2020年1月31日～2020年5月14日)

項 目	第1期～第3期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 46	% 0.489	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.237)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.237)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.017	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.017)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.013	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.006)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	49	0.521	
作成期間の平均基準価額は、9,336円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

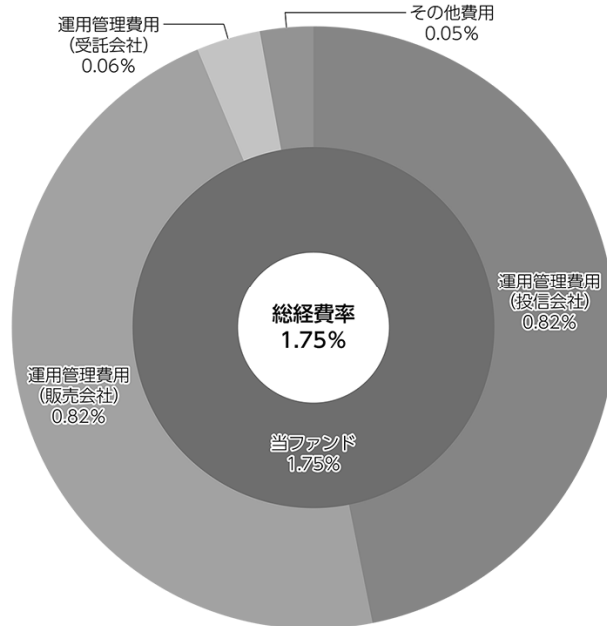
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Cコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Cコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2020年1月31日～2020年5月14日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第1期～第3期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千口 113,629	千円 262,700	千口 40,729	千円 83,431

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2020年1月31日～2020年5月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第1期～第3期	
	グローバル・マルチテーマ マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	7,247,846千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	23,398,350千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30	

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年1月31日～2020年5月14日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;野村未来トレンド発見ファンド Cコース（為替ヘッジあり）予想分配金提示型&gt;

区分	第1期～第3期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$		
為替先物取引	百万円 217	百万円 —	% —	百万円 378	百万円 3	% 0.8

## &lt;グローバル・マルチテーマ マザーファンド&gt;

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## &lt;Cコース&gt;

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2020年1月31日～2020年5月14日)

設定時残高 (元本)	設定元本	解約元本	第3期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 -	百万円 -	百万円 10	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2020年5月14日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第3期末	
		口数	評価額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド		千口 72,899	千円 162,063

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2020年5月14日現在)

項 目	第3期末	
	評価額	比率
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千円 162,063	% 99.4
コール・ローン等、その他	1,002	0.6
投資信託財産総額	163,065	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*グローバル・マルチテーマ マザーファンドにおいて、第3期末における外貨建て純資産(25,010,643千円)の投資信託財産総額(25,646,407千円)に対する比率は97.5%です。

\*外貨建て資産は、第3期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.89円、1カナダドル=75.84円、1スイスフラン=109.97円、1ユーロ=115.68円。

## &lt;Cコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第1期末	第2期末	第3期末
	2020年3月16日現在	2020年4月14日現在	2020年5月14日現在
	円	円	円
(A) 資産	291,253,117	283,344,440	319,135,792
コール・ローン等	1,732,727	2,475,697	187,607
グローバル・マルチテーマ マザーファンド(評価額)	149,585,763	145,180,023	162,063,485
未収入金	139,934,627	135,688,720	156,884,700
(B) 負債	141,840,605	137,870,950	156,743,340
未払金	141,630,996	137,685,653	156,527,238
未払信託報酬	209,212	184,947	215,694
未払利息	3	1	-
その他未払費用	394	349	408
(C) 純資産総額(A-B)	149,412,512	145,473,490	162,392,452
元本	176,362,119	165,313,119	171,078,541
次期繰越損益金	△ 26,949,607	△ 19,839,629	△ 8,686,089
(D) 受益権総口数	176,362,119口	165,313,119口	171,078,541口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,472円	8,800円	9,492円

(注) 第1期首元本額は10,000,000円、第1～3期中追加設定元本額は183,174,053円、第1～3期中一部解約元本額は22,095,512円、1口当たり純資産額は、第1期0.8472円、第2期0.8800円、第3期0.9492円です。

## ○損益の状況

項 目	第1期	第2期	第3期
	2020年1月31日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 20	△ 190	△ 51
支払利息	△ 20	△ 190	△ 51
(B) 有価証券売買損益	△28,339,044	5,614,985	11,597,248
売買益	7,868,404	9,523,439	13,633,569
売買損	△36,207,448	△ 3,908,454	△ 2,036,321
(C) 信託報酬等	△ 209,606	△ 192,996	△ 216,102
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△28,548,670	5,421,799	11,381,095
(E) 前期繰越損益金	-	△26,615,895	△21,156,096
(F) 追加信託差損益金	1,599,063	1,354,467	1,088,912
(配当等相当額)	(△ 1)	( 112,432)	( 134,494)
(売買損益相当額)	( 1,599,064)	( 1,242,035)	( 954,418)
(G) 計(D+E+F)	△26,949,607	△19,839,629	△ 8,686,089
(H) 収益分配金	0	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△26,949,607	△19,839,629	△ 8,686,089
追加信託差損益金	1,599,063	1,354,467	1,088,912
(配当等相当額)	( 119,947)	( 125,195)	( 134,929)
(売買損益相当額)	( 1,479,116)	( 1,229,272)	( 953,983)
分配準備積立金	-	134,508	238,118
繰越損益金	△28,548,670	△21,328,604	△10,013,119

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



## &lt;Cコース&gt;

(注) 分配金の計算過程（2020年1月31日～2020年5月14日）は以下の通りです。

項 目	第1期	第2期	第3期
	2020年1月31日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円	134,508円	103,814円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	119,947円	125,195円	134,929円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	134,304円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	119,947円	259,703円	373,047円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6円	15円	21円
g. 分配金	0円	0円	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円	0円	0円

## ○分配金のお知らせ

	第1期	第2期	第3期
1万口当たり分配金(税込み)	0円	0円	0円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## &lt;Dコース&gt;

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2020年1月31日～2020年5月14日)

項 目	第1期～第3期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 45	% 0.489	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(22)	(0.237)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.237)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.017	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 2 )	(0.017)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 0 )	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 0 )	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.006	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0.514	
作成期間の平均基準価額は、9,152円です。			

\*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

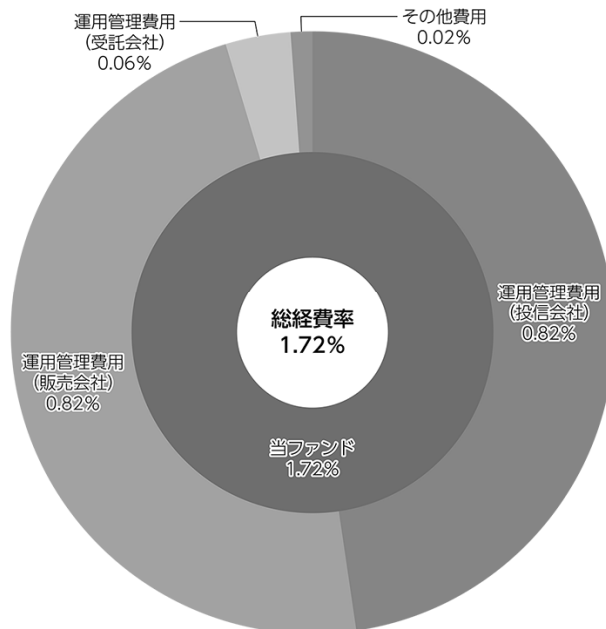
\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## <Dコース>

### (参考情報)

#### ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## &lt;Dコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2020年1月31日～2020年5月14日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第1期～第3期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千口 231,583	千円 556,349	千口 565	千円 1,188

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2020年1月31日～2020年5月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第1期～第3期
	グローバル・マルチテーマ マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	7,247,846千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	23,398,350千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

\*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年1月31日～2020年5月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## &lt;Dコース&gt;

## ○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2020年1月31日～2020年5月14日)

設定時残高 (元本)	設定元本	解約元本	第3期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2020年5月14日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第3期末	
		口数	評価額
グローバル・マルチテーマ マザーファンド		千口 231,017	千円 513,575

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2020年5月14日現在)

項 目	第3期末	
	評価額	比率
グローバル・マルチテーマ マザーファンド	千円 513,575	% 99.6
コール・ローン等、その他	2,229	0.4
投資信託財産総額	515,804	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*グローバル・マルチテーマ マザーファンドにおいて、第3期末における外貨建て純資産(25,010,643千円)の投資信託財産総額(25,646,407千円)に対する比率は97.5%です。

\*外貨建て資産は、第3期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.89円、1カナダドル=75.84円、1スイスフラン=109.97円、1ユーロ=115.68円。

## &lt;Dコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第1期末	第2期末	第3期末
	2020年3月16日現在	2020年4月14日現在	2020年5月14日現在
	円	円	円
(A) 資産	444,628,905	471,598,876	515,804,774
コール・ローン等	1,754,347	1,597,064	2,229,137
グローバル・マルチテーマ マザーファンド(評価額)	442,874,558	470,001,812	513,575,637
(B) 負債	862,239	655,805	1,198,836
未払解約金	245,059	57,071	490,354
未払信託報酬	615,997	597,587	707,121
未払利息	3	-	1
その他未払費用	1,180	1,147	1,360
(C) 純資産総額(A-B)	443,766,666	470,943,071	514,605,938
元本	548,701,011	554,435,186	564,505,072
次期繰越損益金	△104,934,345	△ 83,492,115	△ 49,899,134
(D) 受益権総口数	548,701,011口	554,435,186口	564,505,072口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,088円	8,494円	9,116円

(注) 第1期首元本額は1,000,000円、第1～3期中追加設定元本額は565,518,483円、第1～3期中一部解約元本額は2,013,411円、1口当たり純資産額は、第1期0.8088円、第2期0.8494円、第3期0.9116円です。

## ○損益の状況

項 目	第1期	第2期	第3期
	2020年1月31日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 33	△ 27	△ 32
支払利息	△ 33	△ 27	△ 32
(B) 有価証券売買損益	△100,273,861	23,259,281	35,473,643
売買益	89,497	23,354,311	35,570,461
売買損	△100,363,358	△ 95,030	△ 96,818
(C) 信託報酬等	△ 617,177	△ 598,734	△ 708,481
(D) 当期損益金(A+B+C)	△100,891,071	22,660,520	34,765,130
(E) 前期繰越損益金	-	△100,795,228	△78,043,770
(F) 追加信託差損益金	△ 4,043,274	△ 5,357,407	△ 6,620,494
(配当等相当額)	( - )	( 366,402)	( 431,028)
(売買損益相当額)	(△ 4,043,274)	(△ 5,723,809)	(△ 7,051,522)
(G) 計(D+E+F)	△104,934,345	△ 83,492,115	△49,899,134
(H) 収益分配金	0	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△104,934,345	△ 83,492,115	△49,899,134
追加信託差損益金	△ 4,043,274	△ 5,357,407	△ 6,620,494
(配当等相当額)	( 362,612)	( 414,916)	( 438,559)
(売買損益相当額)	(△ 4,405,886)	(△ 5,772,323)	(△ 7,059,053)
分配準備積立金	-	443,850	783,756
繰越損益金	△100,891,071	△ 78,578,558	△44,062,396

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## <Dコース>

(注) 分配金の計算過程（2020年1月31日～2020年5月14日）は以下の通りです。

項 目	第1期	第2期	第3期
	2020年1月31日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月14日	2020年4月15日～ 2020年5月14日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円	443,850円	340,398円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	362,612円	414,916円	438,559円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	443,358円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	362,612円	858,766円	1,222,315円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	6円	15円	21円
g. 分配金	0円	0円	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円	0円	0円

## ○分配金のお知らせ

	第1期	第2期	第3期
1万円当たり分配金(税込み)	0円	0円	0円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年5月14日現在）

## &lt;グローバル・マルチテーマ マザーファンド&gt;

下記は、グローバル・マルチテーマ マザーファンド全体(11,536,314千口)の内容です。

## 国内株式

銘柄	株数	第3期末	
		金額	評価額
サービス業（100.0%）	千株		千円
リクルートホールディングス	100.1		320,720
合計	株数・金額	100	320,720
	銘柄数 < 比率 >	1	< 1.3% >

\*各銘柄の業種分類は、第3期末の時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の（ ）内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の&lt; &gt;内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。



外国株式

銘柄	株数	第3期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	306	10,971	1,172,790	ソフトウェア
ALPHABET INC-CL A	23	3,101	331,482	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMAZON.COM INC	70	16,575	1,771,748	インターネット販売・通信販売
AMGEN INC	83	1,965	210,112	バイオテクノロジー
ANSYS INC	93	2,344	250,616	ソフトウェア
AUTOMATIC DATA PROCESS	233	3,135	335,176	情報技術サービス
AVALARA INC	763	7,575	809,780	ソフトウェア
BARRICK GOLD CORP	1,597	4,171	445,877	金属・鉱業
CME GROUP INC	178	3,167	338,594	資本市場
CANADIAN NATURAL RESOURCES	332	534	57,099	石油・ガス・消耗燃料
CHEGG INC	1,096	7,103	759,258	各種消費者サービス
COSTCO WHOLESALE CORPORATION	164	4,955	529,650	食品・生活必需品小売り
COUPA SOFTWARE INC	144	2,957	316,124	ソフトウェア
DANAHER CORP	213	3,405	364,030	ヘルスケア機器・用品
FORTINET INC	286	3,922	419,305	ソフトウェア
FRESHPET INC	566	3,965	423,861	食品
GLOBAL PAYMENTS INC	114	1,857	198,574	情報技術サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	312	3,836	410,101	コングロマリット
ILLUMINA INC	122	3,945	421,719	ライフサイエンス・ツール/サービス
INTUIT INC	246	6,818	728,790	ソフトウェア
JPMORGAN CHASE & CO	289	2,428	259,578	銀行
JOHNSON & JOHNSON	161	2,368	253,200	医薬品
LENNAR CORP-A	541	2,646	282,892	家庭用耐久財
MASTERCARD INC	301	8,101	865,992	情報技術サービス
MERCK & CO INC	363	2,827	302,221	医薬品
MICROSOFT CORP	855	15,368	1,642,752	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY	571	2,485	265,681	半導体・半導体製造装置
NETFLIX INC	84	3,681	393,512	娯楽
ROSS STORES INC	506	4,236	452,810	専門小売り
S&P GLOBAL INC	152	4,474	478,319	資本市場
SALESFORCE.COM INC	239	4,054	433,374	ソフトウェア
SERVICENOW INC	86	3,107	332,117	ソフトウェア
TEXAS INSTRUMENTS INC	355	3,871	413,876	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	112	3,741	399,961	ライフサイエンス・ツール/サービス
3M CORP	186	2,531	270,627	コングロマリット
VERTEX PHARMACEUTICALS	97	2,687	287,233	バイオテクノロジー
WORKDAY INC-CLASS A	179	2,752	294,193	ソフトウェア
ZOETIS INC	344	4,232	452,383	医薬品
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A	305	5,097	544,900	ソフトウェア
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	497	8,735	933,713	ソフトウェア
TE CONNECTIVITY LTD	305	2,096	224,134	電子装置・機器・部品
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	402	3,873	414,056	ソフトウェア
小計	株数・金額	13,871	191,713	20,492,230
	銘柄数<比率>	42	-	<79.9%>
(カナダ)		千カナダドル		
CAE INC	1,123	2,237	169,655	航空宇宙・防衛
小計	株数・金額	1,123	2,237	169,655
	銘柄数<比率>	1	-	<0.7%>
(スイス)		千スイスフラン		
ABB LTD	1,652	2,894	318,361	電気設備

銘柄	株数	第3期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(スイス) NESTLE SA-REG	百株 368	千スイスフラン 3,885	千円 427,319	食品
小計	株数・金額 2,021	6,780	745,680	
	銘柄数<比率>	2	<2.9%>	
(ユーロ…フランス) AIRBUS SE LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE TELEPERFORMANCE SAFRAN SA	318 71 139 143	千ユーロ 1,578 2,411 2,964 1,083	182,626 278,906 342,963 125,365	航空宇宙・防衛 繊維・アパレル・贅沢品 専門サービス 航空宇宙・防衛
小計	株数・金額 672	8,038	929,861	
	銘柄数<比率>	4	<3.6%>	
(ユーロ…オランダ) ASML HOLDING NV	221	6,060	701,122	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 221	6,060	701,122	
	銘柄数<比率>	1	<2.7%>	
ユーロ計	株数・金額 894	14,099	1,630,984	
	銘柄数<比率>	5	<6.4%>	
合計	株数・金額 17,909	—	23,038,550	
	銘柄数<比率>	50	<89.8%>	

\*邦貨換算金額は、第3期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*邦貨換算金額欄の<>内は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\*株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	第3期末		比率
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMERICAN TOWER CORP PROLOGIS INC	口 10,700 38,300	千米ドル 2,473 3,172	千円 264,371 339,137	% 1.0 1.3
合計	口数・金額 49,000	5,646	603,509	
	銘柄数<比率>	2	<2.4%>	

\*邦貨換算金額は、第3期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

# グローバル・マルチテーマ マザーファンド

## 運用報告書

第6期（決算日2019年11月14日）

作成対象期間（2018年11月15日～2019年11月14日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマを複数選定し、関連する銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行います。成長テーマは随時見直しを行い、それに伴い組入銘柄の変更を行います。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	新興国を含む世界各国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

**野村アセットマネジメント**

東京都中央区日本橋 1-12- 1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	騰落率	中率	騰落率	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
2期(2015年11月16日)	14,112	9.4	127.53	2.1	92.1	—	412
3期(2016年11月14日)	12,978	△ 8.0	117.12	△ 8.2	88.4	—	894
4期(2017年11月14日)	17,511	34.9	153.32	30.9	92.0	—	10,048
5期(2018年11月14日)	19,692	12.5	153.39	0.0	92.5	—	10,086
6期(2019年11月14日)	22,004	11.7	166.69	8.7	90.3	—	19,876

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*参考指数（＝「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）」は、MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、基準価額への反映を考慮して、営業日前日のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスを営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

\*MSCI ACWI（All Country World Index）Index（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所）MSCI

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

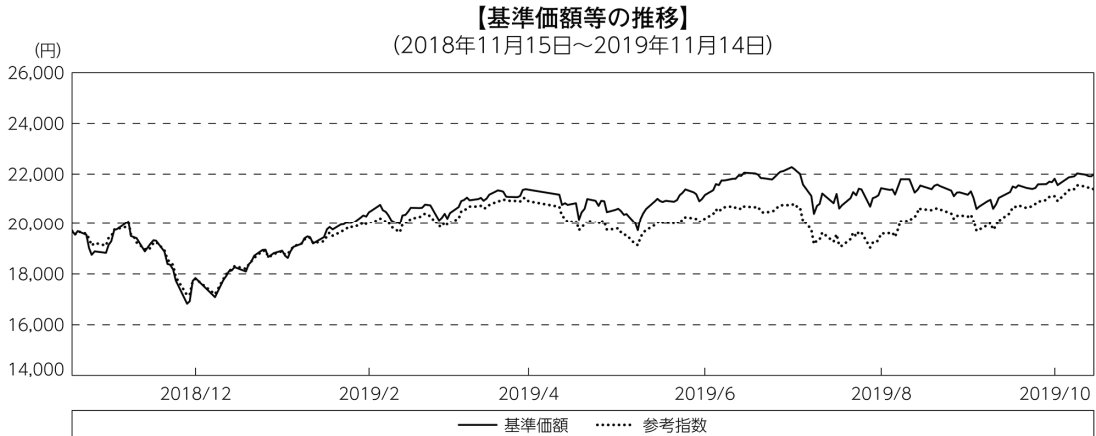
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2018年11月14日	円	%		%	%	%
	19,692	—	153.39	—	92.5	—
11月末	19,761	0.4	154.01	0.4	90.9	—
12月末	17,839	△ 9.4	138.73	△ 9.6	91.1	—
2019年1月末	18,889	△ 4.1	147.32	△ 4.0	95.9	—
2月末	20,493	4.1	155.91	1.6	96.2	—
3月末	20,472	4.0	156.40	2.0	93.4	—
4月末	21,396	8.7	163.08	6.3	94.4	—
5月末	20,433	3.8	152.13	△ 0.8	95.0	—
6月末	21,178	7.5	157.69	2.8	95.2	—
7月末	22,094	12.2	161.31	5.2	95.8	—
8月末	21,454	8.9	152.63	△ 0.5	88.1	—
9月末	21,190	7.6	158.33	3.2	86.9	—
10月末	21,821	10.8	164.63	7.3	87.8	—
(期末) 2019年11月14日	22,004	11.7	166.69	8.7	90.3	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,692円から期末22,004円となりました。

- (下落) 米中貿易摩擦懸念が再燃したこと、世界経済の動向や今後のFRB（米連邦準備制度理事会）の金融政策に対して不透明感が高まったこと、為替市場で円が上昇（円高）したこと
- (上昇) 市場予想を上回る米雇用統計の発表や、良好な2018年10-12月期の米企業決算が発表されたこと、中国の景気対策期待が高まったこと、FRBが金融引き締めに慎重な姿勢を表明したこと、トランプ米大統領が中国からの一部輸入品に対する関税の引き上げ延期を表明したこと、為替市場で円が下落（円安）したこと
- (下落) 米中貿易摩擦の長期化や世界景気の減速などに対する警戒感が高まったこと、為替市場で円が上昇したこと
- (上昇) 米中貿易協議の再開への期待が高まったこと、対メキシコ関税発動が見送られたこと、FRBの利下げ観測が高まったこと、2019年4-6月期の米企業決算や実質GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったこと
- (横ばい) トランプ米大統領による対中追加関税の発動表明を受けて米中貿易摩擦の激化が懸念されたこと、9月の米ISM製造業景気指数が市場予想を下回ったこと、一方、米中貿易交渉の進展が期待されたこと、7-9月期の米企業決算が市場予想を上回ったこと

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

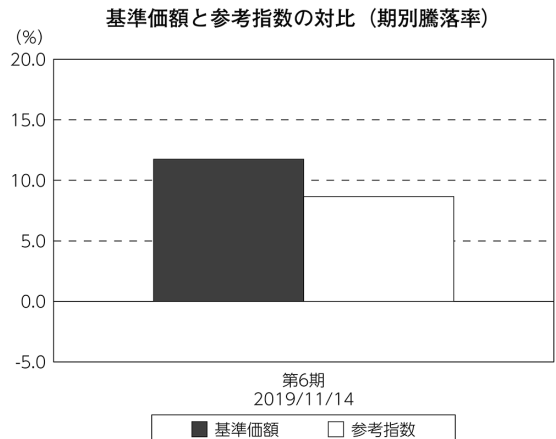
- (1) 業種別配分につきましては、ITセクターなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）としました。一方、金融セクターなどをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。
- (2) テーマ別配分につきましては、「消費の多様化」や「AI（人工知能）・クラウドサービス」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を期中平均で高めにしました。前期からの変化としては、「消費の多様化」などのテーマに関連する銘柄の投資比率を引き上げました。
- (3) 為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）はしておりません。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）の騰落率が8.7%の上昇となったのに対して、基準価額は11.7%の上昇となりました。



(注) 参考指数は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み・円換算ベース）です。

### (主なプラス要因)

- ① 株価騰落率が参考指数を上回ったITセクターをオーバーウェイトとしていたこと
- ② 世界的な非現金決済の拡大や新興国における消費の拡大などを背景に、長期的な成長を期待できると判断しオーバーウェイトとしていた米国のソフトウェア株や情報技術サービス株などの株価騰落率が参考指数を上回ったこと

**(主なマイナス要因)**

- ① 株価騰落率が参考指数を下回ったヘルスケアセクターをオーバーウェイトとしていたこと
- ② 世界的な高齢化の進展を背景に中長期的な成長が期待でき、継続して業界平均を上回る収益力を達成していることからオーバーウェイトとしていた米国のヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス株などの株価騰落率が参考指数を下回ったこと

**◎今後の運用方針****・投資環境**

米国経済は、7-9月期の実質GDP成長率が前期比年率+1.9%と、市場予想を上回り底堅さを見せました。個人消費が引き続き堅調であることに加え、金利低下を受けて住宅投資が前期比でプラス成長に転じています。米中貿易協議については、不透明感の払拭には時間を要すると見られます。10月末に3会合連続の利下げを決めたFRBは今後も慎重に金融政策を運営すると見込まれます。

**・運用方針**

グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマを複数選定し、関連する銘柄群を中心に成長性に着目した銘柄選択を行ないます。成長テーマの選定は、「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から選定することを基本とします。成長テーマは必要に応じて入れ替えを行ないます。また、市場環境やマクロ経済動向も加味し、組入銘柄および組入比率、その結果としての各成長テーマ毎の投資比率を決定します。

AI、ロボット、IoT（モノのインターネット）、自動運転、クラウドなど高い成長が期待されるテーマや、アウトソーシング、消費、教育など安定的な成長が期待される成長テーマにも注目してまいります。今後も政治情勢や金利動向なども考慮しつつ、「中長期成長期待への積極的投資」と「短期的な株式市場環境への対応」をバランスよく運用してまいります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月15日～2019年11月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 20 (20) ( 1 )	% 0.099 (0.096) (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	4 ( 4 ) ( 0 )	0.022 (0.019) (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	4 ( 4 ) ( 0 )	0.018 (0.018) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	28	0.139	
期中の平均基準価額は、20,585円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## ○売買及び取引の状況

(2018年11月15日～2019年11月14日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 11	千円 89,730	千株 45	千円 231,497
	アメリカ	百株 13,693 ( - )	千米ドル 126,683 (△ 21)	百株 6,412	千米ドル 81,879
外 国	カナダ	490	千カナダドル 1,560	-	千カナダドル -
	スイス	1,800	千スイスフラン 5,826	-	千スイスフラン -
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	122	2,831	-	-
	フランス	407	6,660	100	1,352
	オランダ	178	3,977	-	-
	香港	2,794 ( - )	千香港ドル 34,237 (△0.37033)	8,102	千香港ドル 24,544

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\* ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	AMERICAN TOWER CORP	11,400	2,462	5,500	1,177
	PROLOGIS INC	38,300	3,202	-	-
	小 計	49,700	5,665	5,500	1,177
国	香港		千香港ドル		千香港ドル
	LINK REIT	226,000	21,164	-	-
	小 計	226,000	21,164	-	-

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○株式売買比率

(2018年11月15日～2019年11月14日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	26,377,458千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,143,931千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.17

\* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月15日～2019年11月14日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 10,116	百万円 317	% 3.1	百万円 1,843	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2019年11月14日現在)

## 国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数		株 数	評 価 額
医薬品 ( - % )		千株	千株	千円
ペプチドリーム		18.6	-	-
機械 ( - % )				
小松製作所		17.5	-	-
電気機器 ( - % )				
日本電産		4.8	-	-
情報・通信業 (15.2%)				
GMOペイメントゲートウェイ		17.4	12.8	88,064
サービス業 (84.8%)				
リクルートホールディングス		59	60.9	228,862
セコム		17.7	26.9	262,059
合 計	株 数 ・ 金 額	135	100	578,986
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	3	< 2.9% >

\* 各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\* 銘柄欄の ( ) 内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\* 評価額欄の &lt; &gt; 内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\* 評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AT & T INC	404	—	—	—	各種電気通信サービス
ADOBE INC	120	146	4,285	466,325	ソフトウェア
ALPHABET INC-CL A	14	—	—	—	インタラクティブ・メディアおよびサービス
AMAZON.COM INC	17	40	7,012	763,023	インターネット販売・通信販売
AMGEN INC	105	73	1,603	174,486	バイオテクノロジー
AUTOMATIC DATA PROCESS	116	311	5,255	571,826	情報技術サービス
AVALARA INC	—	259	1,858	202,260	ソフトウェア
BANK OF NEWYORK MELLON CORP	319	—	—	—	資本市場
BARRICK GOLD CORP	—	1,128	1,879	204,480	金属・鉱業
BIOGEN INC	61	—	—	—	バイオテクノロジー
BLACKSTONE GROUP INC/THE-A	—	261	1,368	148,869	資本市場
BOEING CO	76	—	—	—	航空宇宙・防衛
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	72	—	—	—	各種消費者サービス
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC	—	171	2,032	221,175	情報技術サービス
CME GROUP INC	171	132	2,700	293,894	資本市場
CANADIAN NATURAL RESOURCES	—	332	922	100,427	石油・ガス・消耗燃料
CARNIVAL CORP	170	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー
CATERPILLAR INC DEL	80	—	—	—	機械
CHEGG INC	280	—	—	—	各種消費者サービス
CISCO SYSTEMS	—	546	2,645	287,902	通信機器
COSTCO WHOLESALE CORPORATION	120	156	4,725	514,153	食品・生活必需品小売り
DANAHER CORP	—	188	2,576	280,353	ヘルスケア機器・用品
DELTA AIR LINES INC	—	371	2,096	228,082	旅客航空輸送業
DISNEY (WALT) CO	164	453	6,737	733,054	娯楽
ELECTRONIC ARTS	—	103	988	107,591	娯楽
FAIR ISAAC CORP	112	—	—	—	ソフトウェア
FIRST REPUBLIC BANK/CA	77	—	—	—	銀行
FORTINET INC	185	—	—	—	ソフトウェア
FRESHPET INC	—	475	2,629	286,075	食品
GLOBAL PAYMENTS INC	120	—	—	—	情報技術サービス
HEALTHEQUITY INC	98	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
HOME DEPOT	144	130	3,052	332,131	専門小売り
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	186	296	5,385	586,020	コングロマリット
IDEXX LABORATORIES INC	—	50	1,296	141,077	ヘルスケア機器・用品
ILLUMINA INC	26	65	1,938	210,920	ライフサイエンス・ツール/サービス
INTERNATIONAL FLAVORS & FRAGRANCE	—	251	3,330	362,366	化学
INTUIT INC	78	—	—	—	ソフトウェア
INTUITIVE SURGICAL INC	57	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
JPMORGAN CHASE & CO	—	274	3,520	383,049	銀行
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	191	256	2,386	259,667	建設・土木
JOHNSON & JOHNSON	91	239	3,137	341,375	医薬品
LAS VEGAS SANDS CORP	100	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー
LENNAR CORP-A	—	503	2,983	324,612	家庭用耐久財
ELI LILLY & CO.	74	—	—	—	医薬品
LOCKHEED MARTIN	38	—	—	—	航空宇宙・防衛
MASTERCARD INC	148	—	—	—	情報技術サービス
MERCK & CO INC	108	235	1,993	216,887	医薬品
MICROSOFT CORP	203	532	7,836	852,732	ソフトウェア
MICRON TECHNOLOGY	—	504	2,333	253,910	半導体・半導体製造装置
NETFLIX INC	—	56	1,585	172,509	娯楽
NVIDIA CORP	50	—	—	—	半導体・半導体製造装置

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額	額		
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
PALO ALTO NETWORKS INC	58	—	—	—	ソフトウェア	
PEPSICO INC	76	224	2,985	324,873	飲料	
PROCTER & GAMBLE CO	—	239	2,883	313,757	家庭用品	
RED HAT INC	60	—	—	—	ソフトウェア	
ROSS STORES INC	279	553	6,159	670,255	専門小売り	
S&P GLOBAL INC	—	51	1,318	143,516	資本市場	
SQUARE INC - A	101	—	—	—	情報技術サービス	
TEXAS INSTRUMENTS INC	—	211	2,498	271,879	半導体・半導体製造装置	
3M CORP	—	173	2,950	321,045	コングロマリット	
UNITEDHEALTH GROUP INC	80	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
VERIZON COMMUNICATIONS	—	504	2,994	325,805	各種電気通信サービス	
WATERS CORP	37	206	4,395	478,310	ライフサイエンス・ツール/サービス	
WPX ENERGY INC	—	691	711	77,368	石油・ガス・消耗燃料	
ZOETIS INC	128	368	4,285	466,290	医薬品	
NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDIN	—	534	2,783	302,840	ホテル・レストラン・レジャー	
TE CONNECTIVITY LTD	120	305	2,856	310,763	電子装置・機器・部品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,314	12,595	128,921	14,027,949	
		44	42	—	<70.6%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CAE INC	633	1,123	4,004	328,819	航空宇宙・防衛	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	633	1,123	4,004	328,819	
		1	1	—	<1.7%>	
(スイス)			千スイスフラン			
ABB LTD	—	1,535	3,322	365,156	電気設備	
NESTLE SA-REG	—	264	2,763	303,786	食品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	1,800	6,086	668,943	
		—	2	—	<3.4%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
MUENCHENER RUECKVER AG-REG	—	122	3,099	371,061	保険	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	122	3,099	371,061	
		—	1	—	<1.9%>	
(ユーロ…フランス)						
AIRBUS SE	—	209	2,833	339,280	航空宇宙・防衛	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	—	40	1,641	196,591	繊維・アパレル・贅沢品	
TELEPERFORMANCE	—	139	2,948	352,972	専門サービス	
SAFRAN SA	225	143	2,130	255,040	航空宇宙・防衛	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	225	532	9,553	1,143,885	
		1	4	—	<5.8%>	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	—	178	4,359	521,917	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	—	178	4,359	521,917	
		—	1	—	<2.6%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	225	833	17,012	2,036,864	
		1	6	—	<10.2%>	
(香港)			千香港ドル			
CSPC PHARMACEUTICAL GROUP LIMITED	3,700	—	—	—	医薬品	
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	—	2,460	22,496	312,704	保険	
TENCENT HOLDINGS LTD	143	—	—	—	インタラクティブ・メディアおよびサービス	
3SBIO, INC	3,925	—	—	—	バイオテクノロジー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,768	2,460	22,496	312,704	
		3	1	—	<1.6%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	13,940	18,811	—	17,375,280	
		49	52	—	<87.4%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
AMERICAN TOWER CORP	—	5,900	1,240	135,021	0.7	
PROLOGIS INC	—	38,300	3,367	366,441	1.8	
小 計	口 数 ・ 金 額	—	44,200	4,608	501,462	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	2	—	< 2.5% >	
(香港)			千香港ドル			
LINK REIT	—	226,000	18,328	254,767	1.3	
小 計	口 数 ・ 金 額	—	226,000	18,328	254,767	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	< 1.3% >	
合 計	口 数 ・ 金 額	—	270,200	—	756,230	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	3	—	< 3.8% >	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	17,954,266	89.4
投資証券	756,230	3.8
コール・ローン等、その他	1,367,228	6.8
投資信託財産総額	20,077,724	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建て純資産（18,954,246千円）の投資信託財産総額（20,077,724千円）に対する比率は94.4%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.81円、1カナダドル=82.11円、1スイスフラン=109.91円、1ユーロ=119.73円、1香港ドル=13.90円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	20,077,724,109
コール・ローン等	1,355,381,386
株式(評価額)	17,954,266,982
投資証券(評価額)	756,230,067
未収配当金	11,845,674
(B) 負債	201,480,525
未払金	201,479,789
未払利息	736
(C) 純資産総額(A-B)	19,876,243,584
元本	9,033,066,637
次期繰越損益金	10,843,176,947
(D) 受益権総口数	9,033,066,637口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,004円

(注) 期首元本額は5,121,977,476円、期中追加設定元本額は6,893,954,703円、期中一部解約元本額は2,982,865,542円、1口当たり純資産額は2,2004円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村未来トレンド発見ファンド Bコース (為替ヘッジなし) 5,793,644,119円  
 ・野村未来トレンド発見ファンド Aコース (為替ヘッジあり) 2,407,502,738円  
 ・グローバル・マルチテーマオープン (適格機関投資家専用) 831,919,780円

## ○損益の状況 (2018年11月15日～2019年11月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	130,752,249
受取配当金	124,312,919
受取利息	6,588,898
その他収益金	56,571
支払利息	△ 206,139
(B) 有価証券売買損益	1,504,545,581
売買益	2,533,505,061
売買損	△ 1,028,959,480
(C) 保管費用等	△ 2,308,756
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,632,989,074
(E) 前期繰越損益金	4,964,076,218
(F) 追加信託差損益金	7,473,922,049
(G) 解約差損益金	△ 3,227,810,394
(H) 計(D+E+F+G)	10,843,176,947
次期繰越損益金(H)	10,843,176,947

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2020年5月14日現在)

年 月	日
2020年 5月	25
6月	－
7月	3
8月	31
9月	7
10月	－
11月	26
12月	25、28

※ 2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。